

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの考え方

キユーピーグループは、「キユーピーグループの理念」に基づく事業活動を通じて世界の人の食生活と健康に貢献し、持続的な成長と企業価値の向上を実現するため、経営上の組織体制や仕組み・制度などを整備し、必要な施策を適宜実施していくこと、また経営の成果をお客様、従業員、お取引先、株主・投資家といったステークホルダーに適切に配分することを、経営上の最も重要な課題の一つに位置づけています。

コーポレート・ガバナンス体制の整備および 充実に関する基本方針

1. 株主の権利を尊重し、平等性を確保する。
2. お客様、従業員、お取引先、株主・投資家、地域社会等、様々なステークホルダーの立場や権利等を尊重し、適切な協働関係を構築する。
3. 会社情報を適切に開示し、透明性を確保する。
4. コーポレート・ガバナンス体制を構成する各組織体制が連携する仕組みを構築する。
5. 中長期的な利益の実現を期待する株主との間で建設的な対話を行う。

コーポレート・ガバナンスについては、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みと定義し、「グループ規範」を遵守するとともに、「コーポレート・ガバナンス体制の整備および充実に関する基本方針」に沿って、適切で効果的な体制の整備および充実に継続的に取り組んでいきます。

 キユーピーホームページ
「コーポレート・ガバナンス」

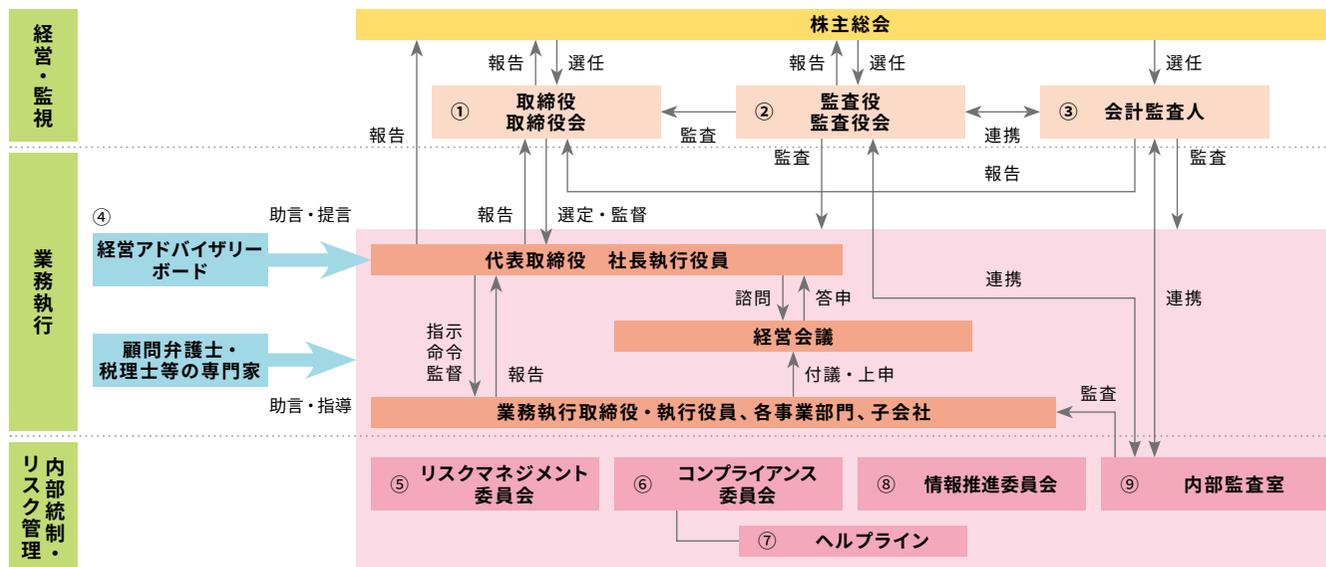
 キユーピーホームページ
「IRライブラリ」コーポレート・ガバナンス関連資料

コーポレート・ガバナンス体制 (2018年2月27日時点)

経営・監視

組織形態	監査役会設置会社
① 取締役 取締役会	取締役の人数：11名 取締役会の議長：取締役会長 社外取締役の人数：2名
② 監査役 監査役会	監査役の人数：5名 社外監査役の人数：3名
③ 会計監査人	新日本有限責任監査法人

コーポレート・ガバナンス体制



■ : 内部統制システム

業務執行

④経営アドバイザリーボード

キューピーグループの健全性、公正性、透明性を維持・向上させるための助言・提言を受け、意思決定に反映させることを目的に、キューピー代表取締役 社長執行役員 の諮問機関として「経営アドバイザリーボード」を設置しています。

社外委員の有識者4名と当社代表取締役 社長執行役員 が参加し、定例会を年2回(必要のある場合は随時)開催し、議題に応じて取締役が参加します。また、当社の社外役員もオブザーバー委員として加わっています。各委員には専門分野の見地のみならず、消費者の視点からも発言いただき、活発な意見交換が行われています。

内部統制・リスク管理

●内部統制システム

会社法に基づき、取締役会において、内部統制システム構築の基本方針を決議するとともに、内部統制の体制整備に必要とされる大綱を定めています。

内部統制システムは、速やかに機能するとともに、定期的かつ必要に応じた見直しによってその改善を図り、効率的で適法な企業体制をつくることを目的としています。

⑤リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント基本規程により、全社のリスクに関しては代表取締役 社長執行役員を委員長とするリスクマネジメント委員会に情報を集中し、そのリスクの評価、優先順位などを総括的に管理しています。

 ⑥コンプライアンス委員会 倫理規範「法令の遵守」

 ⑦ヘルプライン 倫理規範「法令の遵守」

 ⑧情報推進委員会 倫理規範「情報セキュリティの徹底」

⑨内部監査室

品質・環境・安全・労務などの自主監査スタッフと連携し、各部署の日常的なリスク管理状況を監査し、定期的なリスクマネジメント委員会、取締役会、監査役会にリスク管理に関する事項、および社内のリスク管理体制整備の進捗状況を報告しています。

TOPICS

取締役会の実効性評価

キューピーでは、2016年より取締役会の実効性評価を行い、取締役会の改善に取り組んでいます。

今後も取締役会の実効性評価を行いながら、キューピーグループの中長期的な発展に資する経営体制の構築に努めていきます。

2017年度の取り組み

①実施の方法および内容

- すべての役員を対象に、外部機関を利用したアンケートを実施しました。
- アンケートへの回答を外部機関が分析・評価し、その結果を取締役に報告・共有したうえで、取締役会ですべての役員による意見交換を実施しました。

②評価結果

- 全体としてコーポレート・ガバナンスのめざす姿が概ね実現できていると認識されていました。一方、取締役会の実効性の観点からは、一部の課題も見られました。

③改善の取り組み

- 社外役員に期待する役割や取締役会で議論すべき優先事項について、経営陣で議論を行い、整理しました。
- 主に新任取締役を対象とした、外部講師による役員研修を実施しました。

2017年12月には、2回目となる役員へのアンケートを実施しました。

1回目の評価で示された課題の多くが概ね改善されたとの評価でしたが、今後の課題と取り組み案を取締役会で共有し、さらなる改善に努めていきます。

CSRマネジメント

私たちは、グループ理念と規範の実践を通じて、社会に貢献し続ける企業グループでありたいと考えます。このたび、「CSRの基本的な考え方」を定め、CSR活動を持続可能な社会と企業に向けた重要な活動と位置づけました。

CSRの基本的な考え方

私たちはグループ理念と規範を遵守し
持続可能な社会の実現に貢献するとともに
グループの持続的な成長の基盤として
CSR活動を推進します

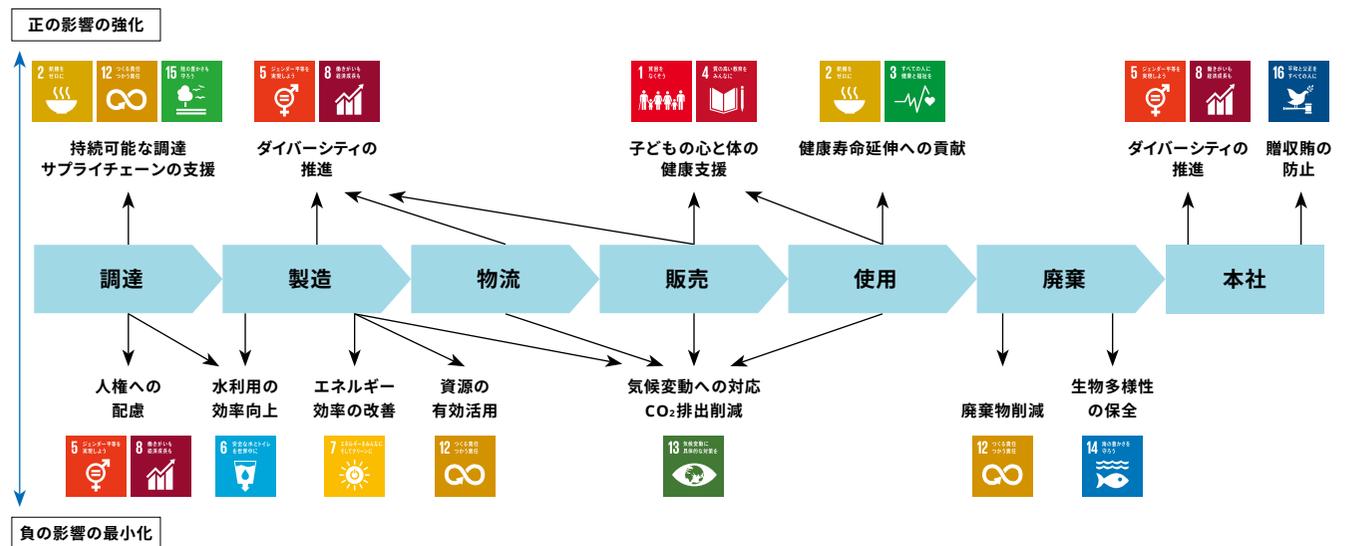
CSRの重点課題の特定

キューピーグループが事業を通じて取り組むべき社会課題を、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を参考に、バリューチェーンにおけるリスクと機会の分析により抽出しました。

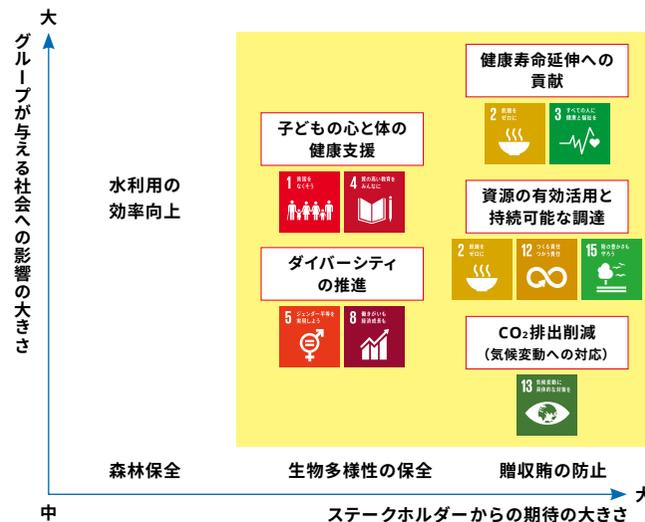
次に、それらの社会課題ごとに、ステークホルダーからの期待の大きさとグループが与える社会への影響の大きさを評価することで、グループが最優先で取り組むべき「CSRの重点課題」を特定しました。

重要性の評価においては、CSR関連の国際基準などを参考とし、グループで現在策定を進めている中長期計画の考え方を反映しています。

キューピーグループが取り組むべき社会課題の抽出



CSRの重点課題の特定



持続可能な開発目標 (SDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)は、2015年に国連で採択された国際社会共通の目標です。持続可能な社会の実現に向けて2030年までに達成すべき17の目標で構成されています。

CSRの重点課題

重点課題	私たちの想い	課題解決ストーリー	SDGsとの関連づけ
健康寿命延伸への貢献	高齢になっても元気で過ごせる社会に貢献します	<ul style="list-style-type: none"> サラダ(野菜)と卵の栄養機能で、中高年の生活習慣病予防や高齢者の低栄養状態を改善します 	 
子どもの心と体の健康支援	食を通じて子どもの心と体の健康を支え、未来の活躍を応援します	<ul style="list-style-type: none"> サラダ(野菜)と卵を活用した食育や共食の体験の場を提供します 子どもや子育て家族への食を通じた支援により、子どもと家族・社会とのコミュニケーションを応援します 	 
資源の有効活用と持続可能な調達	自然の恵みに感謝し、地球の持続可能性に配慮します	<ul style="list-style-type: none"> 食資源を余すことなく有効活用し、食品廃棄を削減します 農業生産者との取り組みで、持続可能な農業を支援します 	  
CO ₂ 排出削減(気候変動への対応)	地球温暖化防止の実現に向け、CO ₂ 排出削減に取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> 原料調達から商品の使用・廃棄まで、サプライチェーン全体を通じたCO₂排出削減を実現します 	
ダイバーシティの推進	理念に共感するグループの一人ひとりが、互いを受容し、学びあい、持続可能な社会とグループの成長をめざします	<ul style="list-style-type: none"> 新しい働き方を創出し、多彩な人材が働きやすく成長できる環境をつくり、新たな社会価値を生み出します 	 

今後は、社内外のステークホルダーからの意見を参考に、重点課題と取り組みの優先度の見直しを図ることで、社会と企業の持続可能性の向上につなげていきます。「キューピー 社会・環境報告書2018 ダイジェスト」では、重点課題と取り組みをSDGsと関連づけ、ストーリーとして紹介し発行しています。

 キューピー 社会・環境報告書2018ダイジェスト

CSR推進体制

CSR委員会は、CSR部が事務局となり、CSR関連部門およびグループ会社より委員を集め、CSR活動の方針・計画策定を行います。CSRの重点課題それぞれの目標・取り組みの検討部会を発足させ、グループで連携した活動を開始しました。

ステークホルダーとの対話

ステークホルダーへの姿勢

主な対話の手段(2017年度実績)

お客様

行動規範のもと、品質を最優先に安全・安心な商品をはじめ、すべての活動の質を高め、お客様の信頼にお応えしていきます。

- お客様相談室(お客様の声 58,178件/年)
- コミュニティサイト「キューピーコミュニティ おはなしダイニング」(会員数8,981名)
- コミュニティサイト「キューピー マヨネーズ ファンクラブ」(会員数56,754名)

従業員

倫理規範のもと、人権を尊重し差別やハラスメント行為を行わず、また行動規範のもと、従業員一人ひとりの個性や成長する意欲を尊重するダイバーシティを推進していきます。

- 人事考課を含む面接
- キャリア自己申告(1回/年)
- わくわく活動合同発表会(1回/年)
- 従業員意識調査(2年に1回)
- 役員による事業所訪問(1回/年)
- 労使委員会

お取引先

倫理規範のもと、公正・自由な競争を行うとともに、透明で健全な関係を築き、相互の発展につなげます。

- 営業活動を通じたお取引先とのコミュニケーション
- 原材料調達先への定期・不定期訪問および現場交流会(200回超/年)
- 生産農家・団体との取り組み

株主・投資家

倫理規範のもと、透明で健全な関係を築いていくとともに、当社グループをより理解していただけるよう努めます。

- 定時株主総会(1回/年)(事前にご意見をいただける工夫)
- アナリスト向け決算説明会(2回/年)
- 株主優待見学会(2回/年、3事業所)

地域社会

行動規範のもと、食育を中心とした社会貢献活動を積極的に行うことで、社会・地域とのより良い共生を図っていきます。

- オープンキッチン(工場見学)とマヨテラスの見学(82,471名/年)
- マヨネーズ教室(食育活動)(15,017名/年)
- 食をテーマにした講演会(159回/年)
- 介護に関するイベント(300回超/年)
- 各エリアにおける地域とのコミュニケーション

TOPICS

2017年度の対話と成果

食品メーカーにとって、今や商品の安全性だけではなく、環境や人権に与える影響にも配慮することが良い原料の条件であり、お客様の安心の要素となってきたと私たちは考えています。

2017年度に「CSR調達対応委員会」を設置し、キューピーグループの持続可能な調達方針の制定および具体的な取り組みを検討しました。委員会には、アドバイザーとして株式会社レスポンスアビリティ代表取締役足立直樹氏にご参加いただき、その初回に「食品事業における原材料リスク」についてご講演いただき、委員会を通じて高いご見識から支援をいただいています。

2018年1月「キューピーグループの持続可能な調達のための基本方針」をキューピーホームページで公開いたしました。今後、お取引先の理解をいただきながら、この方針に基づく具体的な取り組みを実施いたします。



足立 直樹氏
株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役

 キューピーホームページ
「キューピーグループの持続可能な調達のための基本方針」

 「公正・健全な企業活動」サプライチェーンへの取り組み

社外からの評価

認定



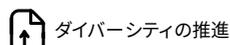
健康経営優良法人

キューピーは、2018年2月20日に経済産業省より優良な健康経営を実践している法人として健康経営優良法人2018(ホワイト500)の認定を受けました。この制度は2017年にスタートし、キューピーが認定を受けるのは今回が初となります。



プラチナくるみん認定

キューピーは「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を通算6回受けています。2018年5月にプラチナくるみんの認定を受けました。



ダイバーシティの推進

プラチナくるみんとは
2015年4月1日より、くるみん認定を既に受け、相当程度両立支援の制度の導入や利用が進み、高い水準の取組を行っている企業を評価しつつ、継続的な取組を促進するため、新たにプラチナくるみん認定がはじまりました。

ESG・SRIインデックスへの選定



MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

MSCIはESGリサーチの最大手です。日本株の時価総額上位500銘柄の中から、各業種の中からESG格付けが相対的に高い銘柄を選別して構成する指数です。年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用対象として採用されました。



MSCI日本株女性活躍指数(愛称はWIN)

女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、多面的に性別多様性スコアを算出し、各業種から性別多様性スコアの高い企業を選別しています。年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用対象として採用されました。



モーニングスター社会的責任投資株価指数(MS-SRI)

※2006年に次ぐ2回目の選出

モーニングスター株式会社が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数です。

表彰

2017年度グッドデザイン・ロングライフデザイン賞を 「キューピー マヨネーズ」「ディスペンパック」がW受賞



赤い網目と赤いキャップの「キューピー マヨネーズ」と、グループ会社のディスペンパックジャパンが製造する片手で簡単に使える容器「ディスペンパック」は、2017年度グッドデザイン・ロングライフデザイン賞を受賞しました。

「キューピー神戸工場の取り組み」に関するテーマで 2017年度ロジスティクス大賞を受賞



公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催する「ロジスティクス全国大会2017」において、「キューピー神戸工場の取り組み」に関するテーマで、キューピー・キューソー流通システム・(株)竹中工務店の3社がロジスティクス大賞を受賞しました。

労働生産性の向上、生産リードタイムの短縮、製品在庫の削減を、高い水準で実現したことが評価されました。

「仙川キューポートの活用」で優秀ファシリティマネジメント賞を受賞



本賞は、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会が、ファシリティマネジメントに関する優れた業績および功績のあった組織と個人を年1回表彰しているものです。グループ協働を促進する仙川キューポートの活用が評価されました。

※仙川キューポートは2014年日経ニューオフィス賞を受賞しています。